

選ばれるまち・大府へ

大府にゆかりのある経営者が語る、

これからのまちづくり

「選ばれるまち」とは、どのようなまちなのでしょう。
人口減少や地域間競争が進む今、「住みたい」「働きたい」「ここで
挑戦したい」と思ってもらえるまちが求められています。

大府市にゆかりのある3人の経営者を迎え、大府の魅力と、これ
からのまちづくりへの思いを伺います。

商工業ウエルネスバレー推進課

☎0562(45)6227

まちの魅力とは

—大府の魅力は？—

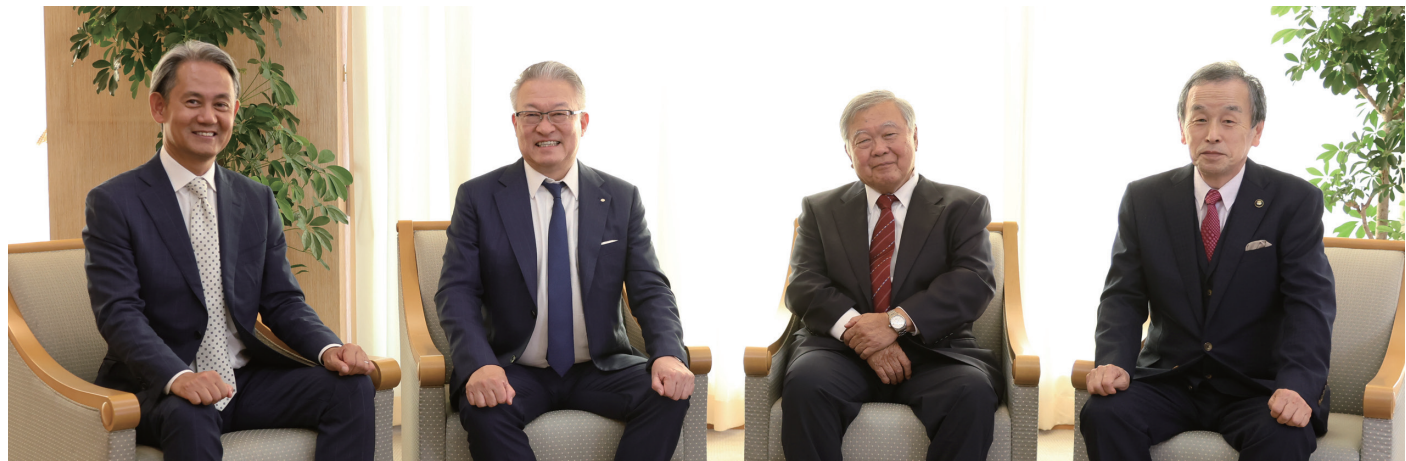
谷 これまで全国を回りましたが、
結局帰ってくる場所は、生まれ育った
大府でした。故郷であり、落ち着く場
所でもあります。社員も市内出身者が
多いのですが、大府への愛着は強いと
感じますね。

小田 私は岐阜県生まれで、今は大

府に住んでいます。アクセス性を重視
して住み始めました。公園や緑、農地
も多く、住環境と働く環境のバランス
が良いまちだと感じています。企業に
とつても、働く人にも良いまちだと思
います。

黒田 私にとって大府は会社が育ち、
挑戦させてもらった場所です。その象
徴が、東京五輪・パラ五輪の際に取り
組んだ「都市鉱山メダル」。大府から
こそ生まれた挑戦だったと思います。

guests



世界を目指すのに、
東京である必要はない

谷 好通さん(写真中央右)
KeePer技研株式会社
代表取締役社長 兼 CEO

1952年大府市生まれ・大府市在住。本社も
大府市に置く。ガソリンスタンド勤務を経
て1985年に独立し、1993年、前身のアイ・
タック技研株式会社を設立。

会社を元気にすることが、
まちを元気にする

小田 悟さん(写真中央左)
株式会社トップホールディングス
代表取締役

1964年岐阜県中津川市生まれ。現在は大府
市在住。大手通信系企業を経て1992年に独
立。幅広い分野で事業を展開する、売上高
438億円の企業グループを率いる。

社会課題を解決することが、
企業の成長につながる

黒田 武志さん(写真左)
リネットジャングル株式会社
代表取締役社長 兼 CEO

1965年大阪府生まれ。大府市に事業拠点を
置く。大手自動車メーカーを経て2000年に
創業。都市鉱山リサイクルや障がい者雇用
の推進など、社会課題の解決に取り組む。

今の良さを、未来へつなぐ

—今後大府に期待することは？—

谷 これからの大府には、今の良さ
を大切にしてほしいです。大きく発展
してきたまちですが、これからは「ど
う発展していくか」より「どう収まって
いくか」を考えることも必要です。人
口減少を見据え、最適な規模や形を考
え、無理なく長く続くまちをつくる。
量より質、拡大より持続性が大切な時
代だと思います。そして、「人が喜ぶ
ことを続けることが、一番強いまちに
なる近道」。人が喜べば人が集まり、
信頼が生まれる。その積み重ねが、ま
ちの力になるのだと思います。

小田 人は、小さなきつかけで大き
く変わることがあります。こどもや若
い世代が夢を持ち、挑戦できる機会を
作ってほしいですね。プロチームを応
援するなど、スポーツを活用したまち
づくりも面白いと思います。共通の体
験が、市民のつながりやまちの活力に
つながると思います。インフラ整備
も、引き続きスピード感を持って進め
てもらいたいですね。

黒田 大府には、企業や大学、文化
やスポーツなど、さまざまな資源があ
ります。それぞれの分野をつなぐこと
で、複数の課題が解決することがあり
ます。そうした発想の中に、このまち
ならではの新しい可能性があると思
います。「大府がまた面白いことを始め
た」と注目され、次の分野が生まれる。
そんなまちになったら、これは大きな
強みになると思いますね。

岡村市長 今回のお話を通じて、改
めて大府のこれからを考えさせられま
した。今ある良さを大切にしながら、
次の世代に何を残していくか。そし
て、こどもたちや若い世代の夢や挑戦
を応援し、地域や企業が新たな価値を
生み出せる環境をいかにつくっていく
か。「大府を選んで良かった」と思っ
てもらえるまちを、皆さんと一緒に未来
へつないでいきたいと思っています。こ
の度はありがとうございました。



まちの魅力は、立派な施設だけではあ
りません。「やってみよう」と思った人
に、「それ、一緒にやってみよう」と
応えてくれる人がいる。そこに大府の
大きな魅力があります。

岡村市長 私も三重県出身ですが、
大府はバランスの良いまちだと感じて
います。緑があり、商工業や農業も盛
んで、この良さを生かしたまちづくり
を行ってきました。

大府ならではの価値を

—選ばれるまちとは？—

小田 当社のスローガンは「会社を元
気にする会社」なのですが、私は「人が
元気なまち」が選ばれていくと思って

岡村市長 一人一人がいきいきと過
ごし、活躍できることが、まちの価値
を高めるのですね。

